



JGSDF News Release

<http://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>
(お知らせ)

30.6.15
陸幕広報室

平成30年度国外派遣訓練（RIMPAC2018）の概要について

陸上自衛隊は、次のとおり平成30年度米国派遣訓練（RIMPAC2018）を実施しますので、お知らせいたします。

1 目的

米海軍が主催する多国間共同訓練RIMPAC2018に陸上自衛隊部隊を参加させ、日米共同対艦戦闘訓練においては米陸軍及び海上自衛隊との共同（協同）対艦戦闘能力の向上を図るとともに、水陸両用訓練においては水陸両用作戦能力及び日米の相互運用性の維持向上を図る。併せて、HA/DR（人道支援・災害救援）訓練に幕僚を派遣し、幕僚活動能力の向上を図る。

2 期間

- (1) 全般
平成30年6月15日（金）～8月5日（日）
- (2) 日米共同対艦戦闘訓練
6月15日（金）～7月21日（土）
- (3) 米海兵隊との実動訓練
 - ア 水陸両用訓練
6月20日（水）～8月5日（日）
 - イ HA/DR（人道支援・災害救援）訓練
7月1日（日）～7月20日（金）

3 場所

- (1) 全般
アメリカ合衆国ハワイ州
- (2) 日米共同対艦戦闘訓練
カウアイ島太平洋ミサイル射撃場、オアフ島スコフィールドバラックス基地
- (3) 米海兵隊との実動訓練
 - ア 水陸両用訓練
オアフ島カネオヘ・ベイ基地、ハワイ島ポハクロア訓練場及びこれらの周辺海空域
 - イ HA/DR（人道支援・災害救援）訓練
オアフ島パールハーバー・ヒッカム統合基地

4 担任官

- (1) 日米共同対艦戦闘訓練
西部方面総監 陸将 湯浅^{ゆあき} 悟郎^{ごろう}
- (2) 米海兵隊との実動訓練
陸上総隊司令官 陸将 小林^{こばやし} 茂^{しげる}

5 訓練実施部隊等

(1) 陸上自衛隊

ア 日米共同対艦戦闘訓練

(ア) 部隊等 西部方面総監部、西方特科隊、第5地対艦ミサイル連隊等

(イ) 人員 約100名

(ウ) 主要装備 12式地対艦ミサイルシステム一式

イ 米海兵隊との実動訓練

(ア) 水陸両用訓練

a 部隊等 陸上総隊司令部、水陸機動団第2水陸機動連隊等

b 人員 約70名

c 主要装備

89式5.56mm小銃、5.56mm機関銃MINIMI、84mm無反動砲、
偵察ボート等

(イ) HA/DR（人道支援・災害救援）訓練

a 部隊等 陸上総隊司令部、国際活動教育隊

b 人員 5名

(2) 米軍

ア 日米共同対艦戦闘訓練

(ア) 部隊等 米陸軍第17砲兵旅団等

(イ) 人員 約100名

(ウ) 主要装備 HIMARS

イ 米海兵隊との実動訓練

(ア) 水陸両用訓練

a 部隊等 米海兵隊太平洋海兵隊司令部、第3海兵連隊等

b 人員 約600名

c 主要装備 5.56mm小銃、60mm迫撃砲、AAV7等

(イ) HA/DR（人道支援・災害救援）訓練

a 部隊等 米陸軍第351民事コマンド

b 人員 約80名

(3) その他

オーストラリア、ブラジル、ブルネイ、カナダ、チリ、コロンビア、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、イスラエル、マレーシア、メキシコ、オランダ、ニュージーランド、ペルー、韓国、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、トンガ、イギリス、ベトナム（日米を含め全26か国）

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 井上、西村（担当）

(TEL 03-3268-3111 内線 40084)